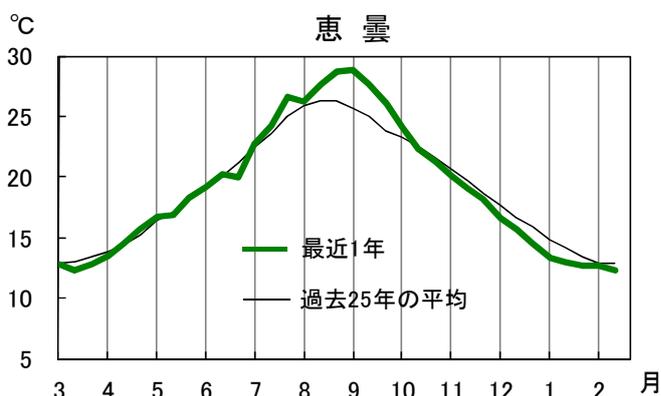
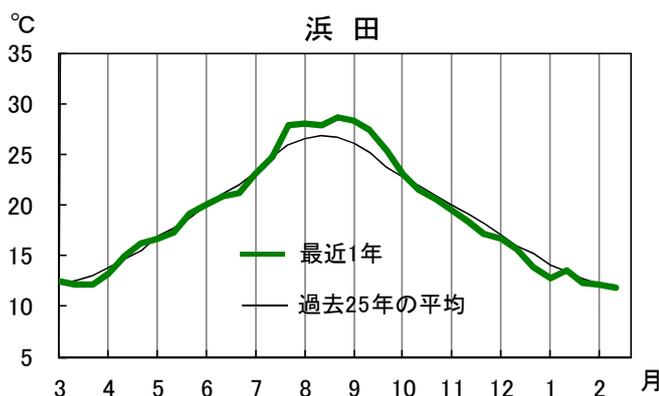




《1～2月の海況》

1月	月平均	平年差	評価
浜田	12.8℃	-0.6℃	やや低め
恵曇	12.9℃	-1.1℃	はなはだ低め

沿岸定地水温は、浜田地区では1月は上旬が「かなり低め」でしたが、中旬は「平年並み」となり、下旬は「やや低め」に転じました。恵曇地区では1月は上旬が「はなはだ低め」でしたが、中旬は「平年並み」となり、下旬は「かなり低め」に転じました。2月に入り、浜田地区は「平年並み」、恵曇地区は「平年並み～やや低め」で経過しています。



《1月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年を下回りました。県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年並みとなりました。県東部ではマアジ、サバ類、スルメイカ、ウルメイワシが好漁だったものの、ブリ、カマスなど他の魚種で不漁だったものが多く、結果として平年並みとなりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ主体（全体の99%）の漁況に移行し、1隻1航海あたりの漁獲量は1,130kgで平年を上回りました。浜田地区ではこの時期としては久しぶりにスルメイカのまとまった水揚げがありました。一方、西郷地区（属地5トン以上）でもスルメイカ主体（全体の97%）の漁況で、1隻1航海あたりの漁獲量は103kgで平年並みでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではソウハチ、キダイ主体の漁況でした。1統1航海当たり漁獲量は12.7トンで、平年並みの水揚げとなりました。ソウハチは小型サイズを主体にまとまり、平年の1.3倍の水揚げがありましたが、ムシガレイは平年の5割の水揚げに留まりました。このほか、アカムツは小型サイズを主体に平年の2.2倍の水揚げがありました。一方、アンコウ、アナゴ類は平年の8～9割の水揚げに留まり、低調に推移しました。

【小型底びき網漁業】

和江、久手両地区ともソウハチ主体の漁況でした。1隻1航海あたりの漁獲量は、和江は平年並み、久手では平年の1.3倍の水揚げとなりました。両地区ともソウハチ、ヒレグロ、アカガレイが好調で平年の1.2～2.7倍の水揚げとなりました。一方、アンコウ、アナゴ類は平年の5～8割の水揚げに留まり低調に推移しました。

【定置網漁業】

石見地区ではヤリイカ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は5.2トンでした。ヤリイカが平年の7倍となり、マアジ、ブリも平年の1.5倍と好調だったことから、全統の総漁獲量は平年を上回りました。出雲地区ではブリ、ヤリイカ、スルメイカ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は20.4トンでした。ブリ、ヤリイカが平年の2.4倍と好調だったものの、スルメイカやマアジが平年の5割に留まったため、全統の総漁獲量は平年並みとなりました。隠岐地区ではスルメイカ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は36.6トンとなりました。スルメイカは平年の8割に留まったものの、ブリ、ヤリイカがそれぞれ平年の5倍、2.5倍と好調だったため、全統の総漁獲量は平年並みとなりました。

【釣・縄】

石見地区ではブリ、メダイ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は27kgで平年を下回りました。出雲地区ではブリ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は44kgで平年並みでした。隠岐地区ではカサゴ・メバル類、スルメイカ、ブリが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は29kgで平年を下回りました。

【平成 25 年 1 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	158 トン	89%	45%	12.2 トン	41%	33%	▲
	西郷	サバ類、マアジ	3,524 トン	75%	128%	55.6 トン	60%	106%	○
	浦郷	サバ類、マアジ	1,602 トン	139%	194%	31.3 トン	67%	107%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	113 トン	515%	640%	1,130kg	226%	251%	◎
	西郷	スルメイカ	1 トン	283%	12%	103kg	87%	70%	○
沖合 底びき網	浜田	ソウハチ、キダイ	229 トン	96%	75%	12.7 トン	106%	95%	○
小型 底びき網	久手	ソウハチ	122 トン	134%	112%	818kg	142%	125%	◎
	和江	ソウハチ	211 トン	131%	110%	882kg	137%	105%	○
定置網 (大型)	浜田	ヤリイカ	7 トン	前年漁獲なし	3,472%	35kg	前年漁獲なし	1,728%	◎
	美保関	ブリ、マアジ、ヤリイカ	55 トン	102%	64%	758kg	107%	70%	▲
	浦郷	スルメイカ	31 トン	231%	136%	1,244kg	249%	148%	◎
釣り・縄	仁摩	ブリ、メダイ	8 トン	104%	66%	38kg	70%	69%	▲
	大社	ブリ	10 トン	37%	67%	39kg	65%	95%	○
	西郷	カサゴ・メバル類、メダイ	3 トン	71%	26%	22kg	56%	35%	▲

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは全てを－、前年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは前年比を－、平年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは平年比を－とした